

「いじめの問題への対応状況の調査」結果（11月末現在）

令和5年（2023年）3月
北海道教育委員会

◆ 調査の概要

- 1 調査の趣旨
いじめの問題の未然防止、早期発見・早期対応の取組の一層の充実を図るため
- 2 調査対象校 《計1,575校》

札幌市立学校を除く道内全ての公立小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校 ・小学校779校（義務教育学校前期課程含む） ・中学校475校（義務教育学校後期課程及び登別明日中等教育学校前期課程含む） ・高等学校248校（全・定別、登別明日中等教育学校後期課程含む、通信制除く） ・特別支援学校67校

- 3 調査対象期間
令和4年（2022年）4月～令和4年（2022年）11月

◆ 調査の結果

	1. 認知したいじめの件数	対 応 状 況			
		2. 解消件数 ・ 心理的、物理的行動が止み、相当の期間（3か月程度）経過している。 ・ 心身の苦痛を感じていない。	3. 解消に向けて取組中の件数 ・ 心理的、物理的行動が止んでいるが、その状態が相当の期間（3か月程度）経過していない。 ・ 心理的、物理的行動が止んでいない。 ・ 心理的、物理的行動が止み、相当の期間（3か月程度）経過しているが、心身の苦痛を感じている。		4. その他
令和4年度 第3回 （4月～11月）	20,203	9,991（49.5%）	10,151（50.2%）	57（0.3%）	4（0.02%）
小学校	16,373	7,996（48.8%）	8,346（51.0%）	30（0.2%）	1（0.0%）
中学校	3,116	1,651（53.0%）	1,451（46.6%）	12（0.4%）	2（0.1%）
高等学校	641	311（48.5%）	314（49.0%）	15（2.3%）	1（0.2%）
特別支援	73	33（45.2%）	40（54.8%）	0（0.0%）	0（0.0%）

※（ ）は、認知したいじめの件数に対する割合

◆ 前年度同期の調査結果

	1. 認知したいじめの件数	対 応 状 況			
		2. 解消件数 ・ 心理的、物理的行動が止み、相当の期間（3か月程度）経過している。 ・ 心身の苦痛を感じていない。	3. 解消に向けて取組中の件数 ・ 心理的、物理的行動が止んでいるが、その状態が相当の期間（3か月程度）経過していない。 ・ 心理的、物理的行動が止んでいない。 ・ 心理的、物理的行動が止み、相当の期間（3か月程度）経過しているが、心身の苦痛を感じている。		4. その他
令和3年度 第3回 （4月～11月）	12,867	6,348（49.3%）	6,466（50.3%）	46（0.4%）	7（0.05%）
小学校	10,169	4,987（49.0%）	5,165（50.8%）	15（0.1%）	2（0.02%）
中学校	2,074	1,054（50.8%）	1,001（48.3%）	17（0.8%）	2（0.1%）
高等学校	548	274（50.0%）	258（47.1%）	13（2.4%）	3（0.5%）
特別支援	76	33（43.4%）	42（55.3%）	1（1.3%）	0（0.0%）

※（ ）は、認知したいじめの件数に対する割合